

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

地元企業と連携した次世代応援計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

群馬県邑楽郡明和町

3 地域再生計画の区域

群馬県邑楽郡明和町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

明和町は、「鶴舞う形の群馬県」の東南端に位置し、人口は11,044人（平成27年度国勢調査）、面積は19.64k㎡と群馬県内で2番目に小さいまちである。早期から子ども・子育て支援に力を入れており、子どもと親を取り巻く環境の変化に対応するため、幼保連携型こども園として県内第1号の「明和こども園」を設立している。また、交通の利便性向上などを理由に、製造業を中心とした工場立地が促進されている。

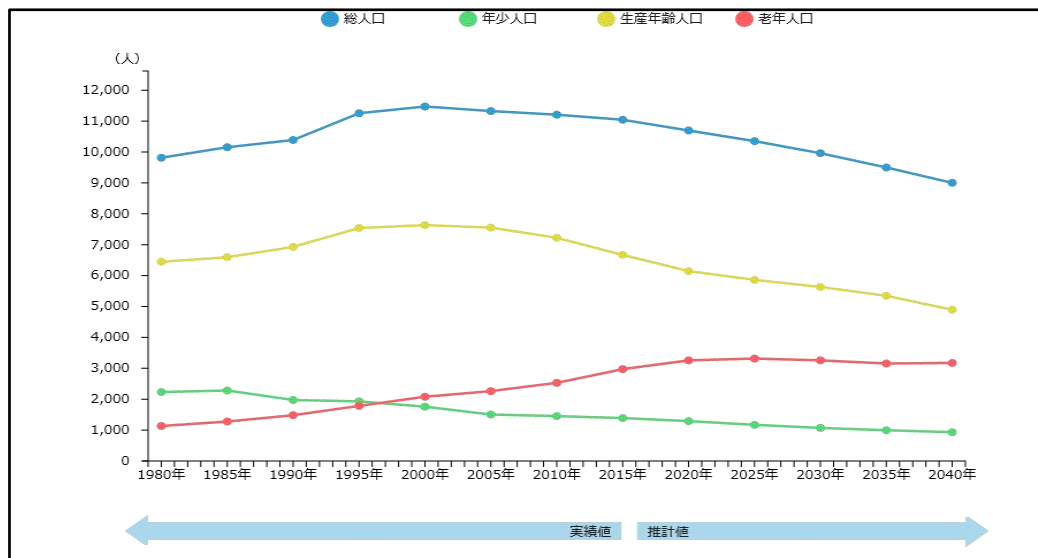


図1 明和町の人口推移と今後の推計

4-2 地域の課題

「子育てにやさしいまちづくり」を総合戦略上に掲げ、各事業を推進しているが、2010年と2015年の国勢調査による人口増減率を比較すると、生産年齢人口が大幅に減少(-7.66%)しており、子育て世代の人口減が顕著

である。就業人口についても平成17年国勢調査と平成27年国勢調査を比較した場合、約6%減少しており、就業人口の確保が課題である。企業からも、地元採用を進めていきたいが、予想よりも募集が少ないとの話もあり、町内企業による周知も課題である。

4-3 目標

町の将来を担う「こども」に対して、町内企業と連携して投資をし、子育てしやすい町としての魅力を増大させ、かつ就職ガイダンス等の機会を通じ、子どもが企業を知る機会を創出し、町内企業への就職者の増加を目指す。また、町独自の取組として、Mターン奨励金事業※を実施し、町内外からの人材の確保を図る。

※ 本町では、本町への JUI ターン（一般的には UIJ ターンというが、本町では、町名の「MEIWA」の M を模して JUI と称している。）及び MAGO ターンを明和（「M」EIWA）へのターンとして M ターンと総称している。

【数値目標】

事業	次世代応援事業			年月
	就職ガイダンス参加者数	就職ガイダンス参加者のうち、地元企業就職者数	「地元企業（ラッピングバスに記載された企業・上毛カルタ大会に協賛した企業に限る。）の認知度	
申請時	0人	12人	0%	H30.3
初年度	150人	14人	50%	H31.3
2年目	200人	16人	65%	H32.3
3年目	220人	18人	80%	H33.3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

子どもにやさしいまちづくり施策を推進し、保育園送迎バスを企業のラッピングバスとしてリニューアルするほか、子どもを中心に地元企業を知る機会を創出し、文化振興の取組や就職ガイダンスを町と企業の連携の下で実施する。また、町独自の取組として、Mターン奨励金事業を実施し、

町内外からの人材の確保を図る。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

(1) 事業名：次世代応援事業

(2) 事業区分：人材の育成・確保

(3) 事業の目的・内容

(目的)

町の将来を担う「こども」に対して、町内企業と連携して投資をし、子育てしやすい町としての魅力を増大させる。併せて、就職ガイダンスの機会を通じ、子どもが企業を知る機会を創出し、町内企業への就職者の増加を目指すことを目的とする。

(事業の内容)

①次世代への先行投資事業

明和こども園の送迎バスを地元企業名の入ったラッピングバスとしてリニューアルすることで、幼少期から子どもが地元企業に触れる機会を創出する。併せて、地元企業と子どもの結びつき強化を図るために、上毛カルタ大会など文化振興の取組を、地元企業の協力を得て促進する。また、地元企業への就職ガイダンス等を、町が一括して受け付け、ニーズにあったマッチングを促進することで、町内企業の周知及び就職に向けた基礎作りを図る。

→各年度の事業の内容

子どもへの先行投資事業

初年度) こども園の送迎バスを地元企業名の入ったラッピングバスとして運行することを検討し、実施する。企業の特徴による出前出張事業及び就職ガイダンス等を地元企業と共に検討する。また、上毛カルタ大会など文化振興の取組を地元企業協力の下で開催する。

2年目) 企業の特徴による出前出張事業及び就職ガイダンス等を地元

企業と共に実施する。また、継続して上毛カルタ大会など文化振興の取組を企業協力の下で開催する。

(4) 地方版総合戦略における位置付け

「基本目標1 あたらしいまちづくりの推進」において掲げている産業活性化による雇用の創出、「基本目標2 子育てにやさしいまちづくり」において掲げている教育・保育環境の整備事業に関連して実施する総合的な事業である。なお、従業員数は総合戦略でも目標（H26：6,419人→H31：7,300人）としており、本事業を推進することで、総合戦略の目標達成を狙う。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

事業	次世代応援事業			年月
KPI	就職ガイダンス参加者数	就職ガイダンス参加者のうち、地元企業就職者数	「地元企業（ラッピングバスに記載された企業・上毛カルタ大会に協賛した企業に限る。）の認知度	
申請時	0人	12人	0%	H30.3
初年度	150人	14人	50%	H31.3
2年目	200人	16人	65%	H32.3

(6) 事業費 (単位：千円)

次世代応援事業	年度	H30	H31	計
	事業費計		10,400	400
区分	需用費	400	400	800
	委託料	2,000	0	2,000
	備品購入費	8,000	0	8,000

(7) 申請時点での寄附の見込み (単位：千円)

	H30	H31	計

製造業	10,000	400	10,400
計	10,000	400	10,400

(8) 事業の評価の方法 (PDCA サイクル)

(評価の手法)

明和町まち・ひと・しごと創生有識者会議 (※) にて、事業の進捗状況、効果の検証、事業の整理・レビューを行い、PDCAを徹底する。

※町議会議員、明和町商工会(商工)、JA邑楽館林(農)、町内企業(産、労)、館林商工高等学校(学)、館林信用金庫明和支店(金)、館林ケーブルテレビ(言)、明和町労使教育委員会(住)、町区長会(住)等で構成。

(評価の時期・内容)

毎年度の9月までにKPIの達成状況、事業の実施状況等を検証し、翌年度以降の取り組み内容に反映させる。

(公表の方法)

広報紙、ホームページ、ケーブルテレビにて公表

(9) 事業期間

平成30年7月～平成32年3月

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) Mターン奨励金事業

事業概要：JUIターンやMAGOターンによる転入者及び受入事業者向けの奨励補助金を創設する。

実施主体：明和町

事業期間：平成30年度～平成32年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 33 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

明和町まち・ひと・しごと創生有識者会議（※）にて、事業の進捗状況、効果の検証、事業の整理・レビューを行い、P D C Aを徹底する。

※町議会議員、明和町商工会(商工)、J A 邑楽館林(農)、町内企業(産、労)、館林商工高等学校(学)、館林信用金庫明和支店(金)、館林ケーブルテレビ(言)、明和町労使教育委員会(住)、町区長会(住)等で構成。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年度の 9 月までに K P I の達成状況、事業の実施状況等を検証し、翌年度以降の取り組み内容に反映させる。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

広報紙、ホームページ、ケーブルテレビにて公表